



仙台支局

〒980-0012
 仙台市青葉区錦町1の5の1
 022・222・5972 FAX022・222・6048
 石巻通信部
 022・222・5972 FAX0225・23・8581
 大崎通信部
 0229・22・0316 FAX0229・22・3342
 気仙沼通信部
 022・222・5972 FAX0226・23・3031

広告 は 毎日 広告社 仙台
 022・265・4111
 ケンオリ
 折込 は 仙台営業所
 022・217・6766
 購読 は ☎0120・468・012

| | | | |
|------|----------|-----|----------|
| 仙台中央 | 222・9381 | 仙台西 | 222・9381 |
| 長町 | 263・2541 | 南小泉 | 263・2541 |
| 塩釜 | 362・1474 | 石巻 | 95・9888 |
| 古川 | 22・0604 | 原の町 | 256・3636 |
| 多賀城 | 362・1474 | 気仙沼 | 22・0202 |
| 岩沼 | 22・3538 | 白石 | 26・2553 |

生の声で教訓を防災に

南三陸 全国被災地語り部シンポジウムが24日、南三陸町の南三陸ホテル観洋で始まった。東日

全国被災地語り部シンポジウムが24日、南三陸町の南三陸ホテル観洋で始まった。東日

東日本大震災 9年

本大震災などの被災地で災害体験を風化させず、教訓を防災に生かす語り部活動について意見を交わした。「語り部の未来」をテーマにしたパネルディスカッションでは、兵庫県淡路市の北淡震災記念公園総支配人、米山正幸さんが「阪神大震災から25年たち、

語り部の確保が課題だ。震災を体験していても語り部はできなくて語り部はできる。できるだけ多くの人から聞き取りをして語り継ぐことが、これから大事になる」と指摘した。

東日本大震災の被災者たちのドキュメンタリー映画「二陽来復」の尹美亜監督は「映画を通じていろいろな語り部の確保が課題だ。震災を体験していても語り部はできなくて語り部はできる。できるだけ多くの人から聞き取りをして語り継ぐことが、これから大事になる」と指摘した。



語り部活動について意見を交わすパネリストたち—南三陸町で

から話を聞いた。魂が震えたことを生で伝える、生で語り部をすることが大事なのではないか。伝えるのは大変なことだが、同じ思いをしてほしくないということは受け取る側の胸に響く。感情はすぐと残り、忘れない」と語った。

シンポジウムは同実行委員会の主催で2016年から開かれ、今回が5回目。25日は東日本大震災の語り部の事例発表などがある。

【新井敦